

拉致被害者の家族が解決訴え

NHK2016,11,14 ・ 18:40 ・ 群馬エリアで放送しました。

横山 悠記者



北朝鮮に拉致された被害者の家族が12日、富岡市で講演し、家族の高齢化が進む中、問題の早期解決に向けて国民全体で声を上げてほしいと呼びかけました。

この講演会は群馬県や拉致問題の解決を求めて活動している「救う会・群馬」などが開いたもので、富岡市内の会場にはおよそ500人が参加しました。12日は拉致被害者の家族会代表で田口八重子さんの兄の飯塚繁雄さんが講演し、「なかなか解決に至らず、帰国を待っている家族も高齢化してしまった。私も体の続く限りがんばりたいが78歳になり、体力的にも自信がなくなってきた」と訴えました。そのうえで、「会場の皆さんには『早く助け出せ』という声を政府にぶつけてほしいし、日本国民はあきらめていないという姿勢を北朝鮮に見せたい。国民全体で問題を解決しましょう」と呼びかけました。

講演のあと記者会見した飯塚さんはアメリカ大統領選挙でトランプ氏が勝利したことについて、「アメリカの大統領が変わる国際情勢の変化をチャンスと捉え、日米両政府が協力して解決する道を探してほしい」と述べました。